

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

| | | | | | |
|------|-----------|-----|-------|-----------|---|
| 法人名 | 株式会社リボン | 代表者 | 飛田 尚文 | 法人・事業所の特徴 | 弊社は総合福祉サービスを展開しており、各事業所が其々のコンセプトに向かって運営しております。当事業所は窓から海が見える景色が最大の特徴であり、夕日や虹がとても綺麗だと利用者から大変に好評を頂いています。介護が必要になっても自宅に住み、可能な限り住み慣れた環境の中で、その人らしい生活を支援しています。また、防災対策としてオール電化を基準としており、安心してお過ごしていただける設備となっております。 |
| 事業所名 | ファミリアてらまち | 管理者 | 柳澤 民子 | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 1人 | 1人 | 2人 | 人 | 1人 | 1人 | 人 | 3人 | 2人 | 11人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取り組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|--|--|---|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | ①アセスメントを早期作成し、利用者がサービス開始までに情報を職員に共有する。 ②スキルアップを目的とした職員の多種多様な会議への参加。 | ①アセスメントを早期作成し、サービス開始前に余裕をもって共有できた。 ②会議への参加は多く行えた。参加時に発言の機会が少いという課題点が残った。 | ・ヒヤリハットや事故報告は同じような内容を繰り返している。職員全員で具体的な改善策の取り組みが出来ているのか。 ・改善策の成果報告を行ってほしい。 ・しおかぜ新聞を回覧した事で地域の方に事業所を知ってもらえた。 | ①サービス開始前の担当者会議に担当職員が参加する。担当職員を中心により質の高い受け入れ準備と情報共有を実施。 ②事業所外の会議、研修への積極的参加。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | ①運営推進会議にて施設内見学を年2回程度設ける。 ②施設内の環境整備。 ③中身のある資源マップの作成と活用。 | ①実際に車いすで送迎車に乗る等の体験型を実施し、違った目線での意見や新たな改善点を確認できた。施設見学を後回しにしてしまい結果的に実施できなかった。 ②細かいところの掃除できていなかった。 ③利用開始後2週間以内に作成できた。環境整備や個別支援にも活用できた。 | ・事業所が地域に開かれた雰囲気ではなく、入りやすい感じではない。 ・体験型の運営推進会議はとても勉強になったので続けて欲しい。 ・事業所前の細道は最徐行で通行をお願いしたい。 | ①運営推進会議にて施設内見学を年1回設ける。 ②利用者の動線を考え、リスクの少ない環境整備行う。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | ①地域の学校との繋がりを継続。 ②地域向け広報誌の発行し、多くの地域住民に事業所を知ってもらおう。 | ①3月に白嶺高校新3年生の就職講話に参加。 ②しおかぜ新聞を発行し回覧して頂いたことで、より事業所の様子を知って頂くことができた。 | ・小規模多機能という介護サービスを知らない方が多い。 ・地域住民が参加交流できる機会があると良いと思う。 ・しおかぜ新聞を回覧したことで、利用者の元気な様子と生活環境を地域住民で確認できた。 | ①しおかぜ新聞の発行と回覧の継続。 ②地域との交流ができる機会を設ける。 |
| D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み | ①事業所新聞を活用し、活動を地域の方に知っていただく。 ②地域資源マップ活用し、利用者の地域との繋がりを深める。 | ①しおかぜ新聞を発行し回覧して頂いたことで、より事業所の様子を知って頂くことができた。 ②個別支援やイベントで、利用者が地域の活動に多く参加できる様に努めた。 | ・事業所として利用者と共に寺町区行事に参加しており、とても良いことだと思う。 | ①資源マップを活用した個別支援を通じ、本人の暮らしを支える取り組みを行う。 |
| E. 運営推進会議を活かした取り組み | ①運営推進会議にて改善・結果報告、事例検討を取り入れる。 | ①体験型の会議を優先してしまった結果、改善・結果報告、事例検討は未実施となってしまった。 | ・運営推進会議録を郵送する際、別紙参照となっているヒヤリハット、事故報告も同封してもらいたい。 ・体験型の運営推進会議は事業所の取り組みがよく分かって良かった。 | ①次年度の運営推進会議の内容を見直し。 ※体験型は継続し、改善・結果報告、事例検討を追加する方向性で検討。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | ①防災訓練を通じた事業所と地域との協力体制の構築。 ②地域の独居高齢者と老老介護の実態把握。(民生委員等) | ①寺町区長参加のもと、例年通り防災訓練を実施。 ②プライバシー保護の観点より情報の開示が難しいとのことで、実態把握には至っていない。 | ・避難訓練もきちんとされている。 ・災害時の地域との具体的な連携方法が協議されていない。 ・防災訓練の参加依頼がなかった。 | ①各関係機関が参加した避難訓練の実施。 |